# RV160およびRV260ルータのポート設定

# 目的

このドキュメントでは、RV160およびRV260のポート設定の方法について説明します。

## 概要

ローカルエリアネットワーク(LAN)は、エリアに限定され、オフィスビル、学校、または自宅で よく見られるネットワークの一種です。LANのサイズはさまざまです。たとえば、LANは2台のコ ンピュータを持つ家庭に存在し、何百ものコンピュータを持つオフィスに存在できます。最も一 般的なタイプのLANはイーサネットですが、Wi-Fi経由で接続することもできます。ポートは、イ ーサネットケーブルを接続できるネットワークデバイスのイーサネットジャックまたはソケット です。これにより、ルータからIPv4またはIPv6アドレスを取得できるLANに接続できます。ポー ト設定は、各ローカルポートの接続設定を行うために使用されます。これらの設定には、ポート ラベル、Energy-Efficient on Ethernet(EEE)、フロー制御、モード(速度とデュプレックス)、ポ ートミラー、ジャンボフレームなどがあります。ポート設定を変更する理由の例としては、自動 ネゴシエーションをサポートしていない古いハードウェアの速度とデュプレックスを手動で設定 したり、ポートラベルを使用して編成を改善したり、セキュリティ上の理由で未使用のポートを 無効にしたりできます。

# 該当するデバイス

- RV160
- RV260

# [Software Version]

• 1.0.00.13

# ポート設定の設定

手順 1

Web構成ユーティリティにログインし、[LAN] > [ポート設定]に移動します。

この記事では、RV160を使用してポート設定を行います。設定は、使用しているモデルによって 異なります。Web構成ユーティリティページへのアクセスの詳細については、ここをクリ<u>ックし</u> てください。



#### [Port Table]領域で、[Port]フィールドには、ルータで現在使用可能なポートが一覧表示されます。

Port Sett	ings				Apply Cancel
Basic Per P	ort Configuration				
Port Table					~
Port	Port Label Enable	EEE	Flow Control	Mode	
LAN1	LAN1		<b></b> ✓	Auto Negotiation (Gigabit)	
LAN2	LAN2			Auto Negotiation (Gigabit)	
LAN3	LAN3		<b>⊻</b>	Auto Negotiation (Gigabit)	
LAN4	LAN4			Auto Negotiation (Gigabit)	
WAN	WAN	V	<b>V</b>	Auto Negotiation (Gigabit)	

## 手順 2

## ポートラベルを変更するには、[ポートラベル]フィールドに新しいラ*ベルを入力*します。この例で は、LAN1のデフォルトポートラベルが保持されます。

Port Sett	ings					Apply	Cancel
Basic Per P	Port Configu	ration					
Port Table							~
Port	Port Label	Enable	EEE	Flow Control	Mode		
LAN1	LAN1			C	Auto Negotiation (Gigabit)		_
LAN2	LAN2				Auto Negotiation (Gigabit)		
LAN3	LAN3				Auto Negotiation (Gigabit)		
LAN4	LAN4				Auto Negotiation (Gigabit)		
WAN	WAN				Auto Negotiation (Gigabit)		

## 手順 3

ポートの設定を有効にするには、[**Enable**]チェックボックスをオンにします。enableボックスが オフの場合、ポートの設定は適用されません。

Port Settings

Apply Cancel
--------------

# [Energy-Efficient on Ethernet(EEE)]チェックボックスをオンにして、データが少ない時間帯にポートが消費する電力を削減できるようにします。

Port Sett	ings					Apply	Cancel
Basic Per P	ort Configu	ration					
Port Table							~
Port	Port Label	Enable	EEE	Flow Control	Mode		
LAN1	LAN1	<b></b> ✓		C	Auto Negotiation (Gigabit)		
LAN2	LAN2				Auto Negotiation (Gigabit)		
LAN3	LAN3				Auto Negotiation (Gigabit)		
LAN4	LAN4				Auto Negotiation (Gigabit)		
WAN	WAN		V	ď	Auto Negotiation (Gigabit)		

### 手順 5

### フロー制御は、受信デバイスが輻輳している信号を送信デバイスに送信できるようにする機能で す。これは、輻輳を緩和するために、送信を一時的に停止するように送信側デバイスに指示しま す。フロー制御を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

Port Sett	ings					Apply	Cancel
Basic Per F	Port Configu	ration					
Port Table							^
Port	Port Label	Enable	EEE	Flow Control	Mode		
LAN1	LAN1		S		Auto Negotiation (Gigabit)		
LAN2	LAN2			S	Auto Negotiation (Gigabit)		
LAN3	LAN3				Auto Negotiation (Gigabit)		
LAN4	LAN4				Auto Negotiation (Gigabit)		
WAN	WAN		V	<b>S</b>	Auto Negotiation (Gigabit)		

手順6

[モード]フィールドで、ドロップダウンリストからポート設定モードを選択します。ここでは、速

度とデュプレックスを設定し、データの送信方法を設定できます。全二重モードは、デバイス間 のデータ伝送が両方向に同時に行えることを示します。半二重では、通信は両方向に行えますが 、一度に1方向しか行えません。他の機器にオートネゴシエーション機能がない場合は、オートネ ゴシエーションが推奨されます。その場合は、サポートする速度とデュプレックスを手動で選択 できます。次のオプションがあります。

- オートネゴシエーション(ギガビット):デバイスは、接続速度とデュプレックスモードを 接続デバイスとオートネゴシエートします。
- •10 Mbps Half:両方向で10 Mbpsですが、一度に1方向だけです。
- •10 Mbps全二重 両方向で同時に10 Mbps。
- 100Mbpsハーフ:両方向で100 Mbpsですが、一度に1方向だけです。
- 100Mbps全二重 両方向で同時に100 Mbps。

この例では、[Auto Negotiation (Gigabit)]が選択されています。

Port Sett	ings				Apply	Cancel
Basic Per P	ort Configu	ration				
Port Table						~
Port	Port Label	Enable	EEE	Flow Control	Mode	
LAN1	LAN1				Auto Negotiation (Gigabit)	
LAN2	LAN2				Auto Negotiation (Gigabit)       10Mbps Half	
LAN3	LAN3				10Mbps Full 100Mbps Half	
LAN4	LAN4				100Mbps Full	
WAN	WAN				Auto Negotiation (Gigabit)	

## ステップ7(オプション)

ジャンボフレームは、1500バイトを超えるペイロードを持つイーサネットフレームで、IEEE 802.3標準で設定された制限です。ジャンボフレームは最大9000バイトのペイロードを伝送でき ます。ソフトウェアによっては、データの大きなブロック(大きなファイルのコピー)を移動す るために使用します。これは、より効率的だからです。ジャンボフレームを有効にする場合は、[ Enable]チェックボックスをオンにします。

ー般に、ジャンボフレームトラフィックは他のトラフィックから分離できるように、独自の VLANを持つことが推奨されます。<u>SG</u>200/300シリーズマネージドスイッチのICMPジャンボフレ ーム防止について<u>は、ハイパーリンクをクリックしてください</u>。



ステップ8(オプション)

ポートミラーリングは、ネットワークトラフィックの監視を必要とするネットワークアプライア ンスで一般的に使用されます。あるポートで見つかったネットワークパケットのコピーを、別の ポートのネットワークモニタリング接続に送信します。ポートミラー構成を有効にする場合は、 [有効]チェックボックスを**オンに**します。



手順9(オプション)

送信元ポートの*トラフィックを*監視する宛先ポートを選択します。ドロップダウンリストから LANポート(**LAN1からLAN4**)のいずれかを選択します。この例では、LAN3を選択**します**。

Port Mirror C	LAN1 LAN2	on			
	LAN3				
🗹 Enable	LAN4				
Destination Port:	LAN3 ~				
Monitored Ports:	🗹 LAN1 🛛	S LAN2	🗆 LAN3	C LAN4	

手順 10(オプション)

宛先ポートでトラフィックをモニタするポートを選択します。

モニタ対象の宛先ポートを選択できません。



#### 手順 11(オプション)

この手順はRV260専用です。リンク集約グループ(LAG)を設定する場合は、1つのLAGに集約する 2-4 LANポートを選択します。LAGは帯域幅を乗算し、ポートの柔軟性を高め、2つのデバイス間 のリンク冗長性を提供します。この例では、*LAG1*の一部としてLAN7とLAN8を選択しました。 LAN7とLAN8の両方に接続されている他のデバイスにもLAGが設定されていることを確認してく ださい。

この例では、RV260Wが使用されています。LAGの一部となるポートの既存の設定はすべて失われます。LAGはポート設定を上書きします。

[リンク状態]フィールドには、LAGのリンクがアクティブかダウンかが表示されます。

LINK Aggrega	ation Cor	niguration							
LAG Table 🤺	All the ex	kisting configu	uration on the	ports (which	are going to	pe part of LA	G) will be lost	. Eg:802.1x, A	ACL.
Group Name	LAN1	LAN2	LAN3	LAN4	LAN5	LAN6	LAN7	LAN8	Link State
Unassigned	0	٥	٥	٥	٥	٥	0	0	
LAG1	0	0	0	0	0	0	٥	٥	Down
LAG2	0	0	0	0	0	0	0	0	Down

## ステップ 12

#### [apply] をクリックして変更内容を保存します。

Port Set	tings					Apply Cancel			
LAN2	LAN2		<b>∀</b>	<b></b> ✓	Auto Negotiation (Gigabit)				
LAN3	LAN3				Auto Negotiation (Gigabit)				
LAN4	LAN4				Auto Negotiation (Gigabit)				
WAN	WAN			V	Auto Negotiation (Gigabit)				
Jumbo Frames	Jumbo Frames:   Enable								
Port Mirror	<sup>-</sup> Configura	tion							
C Enable									
Destination Port: LAN3 ~									
Monitored Ports: 🗹 LAN1 🕑 LAN2 🗆 LAN3 🐨 LAN4									
結論									

これで、RV160またはRV260ルータのポート設定が正常に行われたはずです。